

都市中心地区におけるサウンドスケープに関する分析

岐阜大学工学部 学生員 ○宇野 彰
岐阜大学工学部 正会員 秋山 孝正

1. はじめに

これまでの都市景観は視覚的な意味を中心とした研究が多く行われている。実際の都市景観をとらえるには、視覚的意味だけでなく、聴覚的見地意味を考えることも必要があると考え¹⁾。都市には様々な音が存在し、音の環境を形成している。都市の音は我々の生活環境にも関係をしている。都市のサウンドスケープに関する基本的分析を試みる。

具体的には、サウンドスケープ研究の端緒として、現象をとらえ、物理的に、精神的に理解することを考えた²⁾。とくに、本研究では、岐阜市の都市中心地区のひとつである繁華街を対象としてサウンドスケープに関する分析を行う。

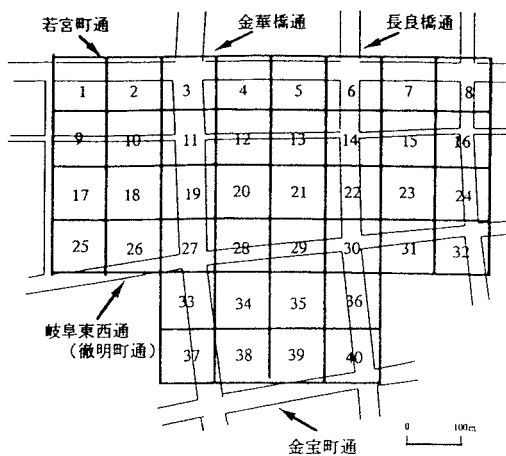


図-1 対象地域

2. サウンドスケープイメージ調査

2. 1 対象地域の選定

本研究では、対象地域として、岐阜市内の繁華街である柳ヶ瀬地域を選ぶ。

サウンドスケープ分析のためのこのような都市中心地区は、日常的な市民の活動の中心となっている。とくに柳ヶ瀬は、岐阜市内の中心にある大型商店街（モール）である。昼間は、大手百貨店と小売り店のならぶ商業活動中心の場である。また夜間には、岐阜市内の遊興娯楽・飲食店のならぶ娯楽活動中心の場である。さらに、柳ヶ瀬内の道路は、終日、自動車進入禁止であり、歩行者専用になっている。またこの地域では、アーケードの取付、ライトアップ、イベントなどの環境整備や地域イメージの向上を推めている。

2. 2 調査方法の概要

(1) 街の音の収集

ここでは、歩行者が接する音環境の把握することを目的とした。

・録音場所

各地域を100m四方で分ける（図-1参照）。その中心点、あるいは中心点に最も近い点で録音を行った。

録音地点は、歩行者用道の場合、道のセンターライン上にする。また、交通の往来がある道は、中心点に近い歩道のセンターライン上にする。そのセンターラインが東西に近いときは、東向き寄りに。南北に近いときは、北向き寄りにする。

・録音方法

マイクの位置を地上から1.5mの高さに固定する。1つの街の音に注目するのではなく、街にある音すべてを対象にする。そのため、マイクは無指向性のものを使用した。

・録音日時

実際の音の収集は、1996年10月29日（火）・10月30日（水）・10月31日（木）の平日3日間に行った。また各対象日について、昼間の活動時間帯として午前10:30～11:30の間、夜間の活動時間帯として午後5:30～6:30の間に録音を行

った。

以上の手順により40地点の昼間と夜間の合計80サンプルの音を収集した。

(2) アンケート調査

・街の音の聴き取り

街の音を再現するためにステレオを用いる。ステレオは、音の距離感や臨場感を表現できる立体音響再生装置である。ステレオで街の音を流し、被験者が街の音景観を疑似体験させるものとする。また、回答にあたっては音質ではなく、街の音景観評価するものであることを被験者に説明する。音は30秒間流し、質問に対し回答を記入させる。

・被験者

被験者は、岐阜大学の学生38人（男性30人、女性8人）である。

・質問項目

質問1は、源の内容について質問した。これは音を聞き、「どんな物」が「何をする」音があるか回答するものである。自由連想で、1つの地点で5つ以内で記入する。

質問2は、イメージ評価である。街の音を聞き、形容詞を用い、街の音環境のイメージを答える。具体的には、形容詞対10個によるSD評価法（Semantic Differential）を用いた。段階的でなく連続的な値として、中間的位置に記入する。

3. アンケート調査の分析

本稿では簡単なアンケート調査結果を示す。

質問2の結果から特徴的であった地点34について考える。ここでは、昼間と夜間のイメージ差がある（図-2）。また、質問1での結果より音源を「交通の音」「自然の音」「人間の音」「その他」「音源不明」の5つに分類した。地点34での昼間と夜間の構成が異なる。これを図-3、図-4に示す。

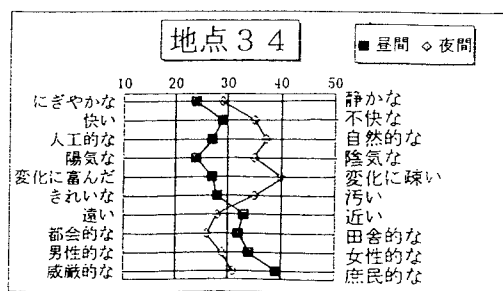


図-2 地点34のイメージプロフィール

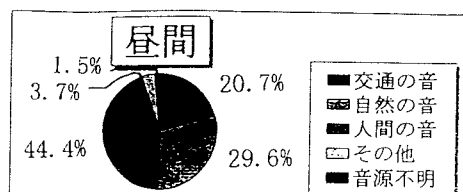


図-3 地点34の昼間の音源構成

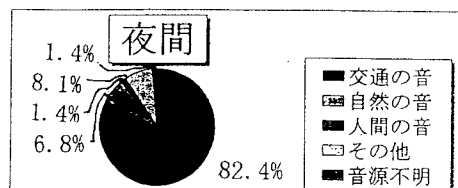


図-4 地点34の夜間の音源構成

4. おわりに

本研究は岐阜市の都市中心地区のサウンドスケープをとらえるために意識調査を行った。地域の音源とイメージには、関係があることが分かった。また、全地点でクラスター分析を用いて、街を音環境の面から整理する。なお詳細な分析結果は発表時にする。

参考文献

- 1) J.D. Porteous, 心の中の景観, pp. 45-74, 古今書院, 1992
- 2) 鳥越けい子, 社会工学の視点からみた都市高速道路の調査研究業務概要報告書, pp. 123-145, 阪神高速道路公団(社) システム科学研究所, 1991
- 3) 佐佐木綱, 街路空間のイメージ(男性・女性)の計量化に関する考察, 土木計画学研究・講演集, No. 9, pp. 155-162, 1996